

# 令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2	履修学年・クラス	2ABC
担当者	使用教材		「高等学校 歴史総合」(第一学習社)、「ダイアログ歴史総合」(第一学習社)				
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
学習方法	<p>①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</p> <p>②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する。</p> <p>③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。				
態	主体的に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点 知 思 態	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期中間	第1部 歴史の扉 ① 歴史と私たち ② 歴史の特質と資料	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現することにより、私たちに関わる諸事象が、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 また、複数の資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。</li> <li>近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちに生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄	中学校までの学習及びこれまでの学習を踏まえ、交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</li> <li>複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	第2節 産業革命と市民革命 第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大 第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 第5節 帝国主義の発展 近代化と現代的な諸課題	アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀の日本やその他のアジアにおける経済活動や社会の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを考察し表現して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。  自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、近現代の歴史に存在した課題について、同時代の社会および人々がそれをどのように受けとめ、対処の仕方を講じたのかを諸資料を活用して考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	○ ○ ○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。</li> <li>主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> <li>現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</li> <li>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
後期中間	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会	・中学校までの学習並びにこれまでの学習を踏まえ、国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、私たちの生活や社会の在り方が、国際秩序の変化や大衆化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</li> <li>第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺を理解する。</li> <li>第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</li> </ul>	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。</li> <li>第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</li> <li>経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
後期末	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在した課題について、同時代の社会及び人々がそれをどのように受けとめ、対処の仕方を講じたのかを諸資料を活用して考察し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</li> <li>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを考察したり表現したりして、国際政治の変容を理解する。</li> <li>日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察したり表現したりして、市場経済の変容と課題を理解する。</li> <li>冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察したり表現したりして、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</li> </ul>	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</li> <li>グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
	現代的な諸課題の形成と展望	これまでの学習を踏まえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、生徒が自ら主題を設定して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、現代的な諸課題を理解する。	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</li> <li>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> <li>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>